

事業区分 子どもゆめ基金20周年記念事業
事業名 阿蘇っ子 わくわくグローバルキャンプ

- [主催] 国立阿蘇青少年交流の家
- [後援] 熊本県教育委員会
- [期日] 令和3年12月11日(土)～12月12日(日)【1泊2日】
- [活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家
- [参加者] 阿蘇郡市等の小学5・6年、中学1年生 34名
- [講師] James Cooly (産山村教育委員会) Lee Cockerhom (南阿蘇村教育委員会)
Daniele Niki (鹿屋市教育委員会) Izumi Inamori (鹿屋市教育委員会)
Glen Ray Mrkusich (垂水市教育委員会) Preston Chong (肝付町教育委員会)
Jane Mae Kojima (南大隅町教育委員会)
- [担当職員] 4名
- [ボランティア] 5名

1 趣 旨

多様な文化をもつ人々と交流することで、異文化理解の増進を図るとともに、自分の住んでいる地域や郷土熊本に誇りをもつことができるようにする。

多様な文化をもつ人々とジェスチャーや英語を使って交流し、互いが意思疎通を図ることの意義を感じることで、英語学習に興味を持ち、主体的に学び続ける意欲を高めることができるようにする。

2 目 標

- (1) 参加者の8割が、異文化や郷土への関心をもつ。
- (2) 参加者の8割が、日本語の通じない相手とのコミュニケーションをとることの大切さを感じる。
- (3) 参加者の8割が、英語学習への関心をもつ。

3 事業展開

研修プログラム

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
12月11日(土)					受付	(英語説明) 入国審査	昼食	野外調理(ピザ) (日本語説明→英語翻訳)				異文化交流 (英語説明) (日本語説明)	入所オリエンテーション	入浴	就寝準備	消灯

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
12月12日(日)	起床	朝の準備 朝食	部屋点検	チャレンジゲーム (英語説明) (日本語説明)		昼食		(英語説明) 出国審査	解散							



【キンドリングクラッカーで薪割り体験】



【Let's go to ニュージーランド】



【チャレンジゲームで課題クリア】



【ドキドキの出国審査(閉会式)】

4 成果と課題

(1) 成果

- 県主催のイングリッシュキャンプの視察や、ALT派遣を依頼する等、県教育委員会と連携することで、「英語教育日本一」を目指す熊本県と同じ目的での企画運営ができた。
- キャンプ全体を通して、参加者の全員が外国の人とコミュニケーションをとる必要性や、英語への興味の高まりについて、高まった(28)、やや高まった(3)と回答し、目標を十分に達成することができた。特に、「英語を理解するプログラム」と「日本語で理解した内容を英語やジェスチャーで伝えるプログラム」のバランスを考慮しながら活動を設定したことで、「日本語を英語に訳したり、ジェスチャーで伝えたり、様々な英語を聞いたりして、この単語はどういう意味なのかと気になった。」「英語がわからなくてもジェスチャーでわかるから興味が高まった。」「もっとしたい、知りたいということが増えた。」等、参加者からの感想が上がった。
- 異文化交流のプログラムにおいて、様々な国のALTに話をしてもらったことや、阿蘇について日本語で聞いたことをジェスチャーや英語でALTに伝える活動が効果的だった。その結果、参加者の全員が色々な文化への理解が深まり、郷土阿蘇に誇りをもつことについて、できた(22)、ややできた(8)と回答し、目標を十分に達成することができた。「国によって文化が違うことがわかった。そして、自然がたくさんある阿蘇を大切にしていきたい。」「どの国にも文化があり、みんなふるさどがあるから深まりが重なった。」「やはり阿蘇は面白いと思った。」等の感想からも、目標の達成がうかがえた。

(2) 課題

- 教育委員会との調整、当日の出欠、活動内容の理解や、その他の様々な手続きに等、ALTとの調整に時間がかかり、熊本県のALTを2名しか集めることができなかった。次年度は本年度のつながりを生かし、早い段階からALTとの調整をはじめ、可能であればすべて熊本のALTで講師をそろえられるとよい。